



Júbilo
IWATA

SOCCER & RUGBY



ジュビロ×レヴズ

SHIZUOKA
BlueReys



© 1993 JUBILO



サッカー

2026/27 シーズン ジュビロ磐田 新体制発表記者会見



▲（左から）おはらもと き 小原基樹選手、いぬいたかし 乾貴士選手、あき ばただひろ 秋葉忠宏監督、
にえかわあゆみ 牲川歩見選手、さとうだい き 佐藤大樹選手、おおたりゆうの すけ 太田 龍之介選手

■秋葉監督コメント

「あいいうえおの法則」- 運よく出会い、縁を大切にすれば恩が生まれ、恩返しが愛になり、また運命が動き出す- に背中を押され、ジュビロ磐田で静岡のフットボールをもう一度盛り上げるために、人生を懸けると決めました。

フットボールが好きでたまらない、勝つため、仲間とクラブのために、どんな犠牲も努力もいとわない、そんな「ジュビロ磐田のDNA」を呼び覚ましたいと思います。ヴィッセル神戸では、強い選手は誰よりも練習してしていました。やらされるのではなく自らやる集団が強くなる。その意識を根づかせます。

市民の皆さんの中にも「ジュビロ磐田のDNA」は必ずあります。もう一度それを呼び覚まし、喜怒哀楽を分かち合い、スタジアムで一緒に戦ってください。開幕からの5試合を大切に、「面白い、強い、見に行きたくなる」チームを示します。どうか私の熱に乗り遅れず、一緒についてきてください。

■乾選手コメント

J1昇格は難しい挑戦ですが、楽しみながら勝ちにこだわって、チーム全員で成し遂げたいと思います。38歳で迎えてくれたクラブと秋葉監督に感謝し、プレーで返します。ジュビロ磐田は歴史のあるクラブで、素晴らしいパスサッカーを見ていた一人なので、このクラブがJ2にいることが悔しいです。再びJ1に昇格し、静岡ダービーを必ず実現させたいです。



ラグビー

日野剛志選手 独占インタビュー！ 「あったかいまち」磐田の魅力



Q. ラグビーを始めたきっかけは？

A. 4歳のとき、友だちの習い事のラグビースクールに体験で行ったのがきっかけです。小学生の間はサッカーとラグビーを両方やっていて、正直サッカーのほうが好きでした（笑）。中学に上がるタイミングで、ラグビーを選びました。サッカーを選んでいたらジュビロ磐田には入れていなかったと思います（笑）。

Q. オフシーズンの過ごし方は？

A. 基本は午前自主トレ、午後は体を休める時間になっています。最近では朝早くに市内の坂道を走って、体の中心となるお尻と股関節を徹底的に鍛えています！気分転換には、コーヒーを入れています。時間があるオフにしかできないので、手間をかけて楽しんでいます。

Q. 磐田市の好きなところは？

A. 自然が近いところですね。海もゴルフ場もすぐに行けるのがうれしいです。昔は福田の海でサーフィンをしていました。今でもそこで仲良くなった方の床屋さんで髪を切ってもらったり、コーヒーショップにコーヒーを飲みに行ったりします。また試合観戦にも来て応援してくれて、とてもあったかいまちだなと感じます。ここ5年くらいでレヴズとラグビーの認知がぐっと上がって、サッカーだけでなくラグビーも着実に根づいてきたと感じるので、さらに盛り上げていきたいです。

日野 剛志（ひの たけし）

2012年、大学卒業後ヤマハ発動機（現・静岡ブルーレヴズ）に加入。日本代表として5試合の出場経験をもつ。